

『2022年版 1級金融窓口サービス技能士（学科・実技）精選問題解説集』【正誤表】

該当箇所	誤	正
400 ページ 《問 14》(2) 解説	…それぞれ、加重平均である 2.28%からの差は1.32%と-3.08% であるから、標準偏差は分散である $0.7 \times 1.32^2 + 0.3 \times (-3.08)^2 = 4.0656$ の平方根となる。	…それぞれ、加重平均である 2.28%からの差は1.32%と-3.08% であるから、標準偏差は分散である $0.7 \times \underline{1.32^2} + 0.3 \times \underline{(-3.08)^2} = 4.0656$ の平方根となる。

以上